

日本画壇の巨匠・平山郁夫の生誕90周年記念

『吉野山桜花』 幻想的な描写で描いた名作

吉野山のシンボルである世界遺産・蔵王堂を中央に拝し、満開の桜が御堂を包み込む様に画面いっぱい描かれています。花びらを淡く美しい薄紅色に染め、華やかで心温まる情景が、見事に醸し出されています。本作は、日本一の桜の名所で知られる吉野山にて、巨匠平山郁夫が幻想的な描写で、桜花を描いた名作「吉野山」を、著作権者の承認のもと謹製に再現した復刻版画です。高精度な彩色技術で刷り上げ、熟練の絵師の手で原画に使用の岩絵具を着彩することで、原画と同じ臨場感が見事に生み出されています。画伯の「平和を願い、平和を祈る」その熱き思いが、満開の桜に映し出され、観る者の心を豊かにし潤いと喜びを与えています。



スケッチをする平山郁夫画伯
(公益財団法人平山郁夫シルクロード美術館提供)

初めての桜の名所

平山郁夫は、1968（昭和43）年より日本文化の源流を求め、仏教伝来の道であるシルクロードを旅し、平和を祈りながら描き続けた、戦後を代表する日本画家であります。生涯にわたってシルクロードの取材を行い、その数は150回を超えるほどでありました。こうした取材の中で画家は、改めて日本文化の素晴らしさを知り、「平成」という時代に入ってから、仏教をはじめとした日本文化が行き交う路（みち）を描いた作品をシリーズとして発表しました。本作は、そうした平山の路シリーズである「大和路」に通じる作品ともいえ、画家が桜の名所を初めて描いた作品でもあります。中央の緑豊かな山に位置するのは、金峯山寺の本堂（蔵王堂）、その周りには吉野山に咲く桜を豪華に描き、背景は平山の持ち色である群青で彩られています。画家は、2007（平成19）年にこの地を訪れてスケッチを行い、それをもとにして本作を完成させました。

公益財団法人平山郁夫シルクロード美術館 学芸室長（学芸員） 大塚裕一氏



作品を保証する証紙（著作権者の承認の監修印・限定番号）が、額裏に貼付されています。

吉野山と桜

奈良・吉野山は、日本一の桜の名所として知られ、山全体が世界遺産に指定されています。吉野山と桜は、山岳信仰と密接な関係があり、今から約1300年前にさかのぼります。その当時は、山々に神が宿るとされ、吉野は神仙の住む理想郷として知られ、そこに樹林する桜（やま桜）を神聖な木として大切に保護されてきました。のちに役行者（えんのぎょうじゃ）が開いた修験道が盛行し、吉野山のシンボルとして金峯山寺（きんぶせんじ）・蔵王堂が建立されたと伝えられています。開花は4月上旬から4月下旬にかけて、下千本・中千本・上千本・奥千本と、馬の背のような形をした吉野山の麓から山々の上へ向かい、ソメイヨシノより花びらの小ぶりなシロヤマ桜を中心に、約3万本・200種類の桜が、豪華絢爛に咲き乱れます。

「一目千本」と言われる程、見渡す限り桜の花で覆い尽くされる光景は、吉野桜ならではの見事なものです。



平山郁夫 生誕90周年記念
初めての限定複製

文化勲章受賞作家

平山郁夫

吉野山 桜花

平山郁夫『吉野山 桜花』

◆販売価格

本体 220,000 円+税

◆作品仕様

- ◎版画技法/巧藝画®（高精細多色刷り+岩絵具手彩色）
- ◎画寸/ 37.0×51.0 cm 額寸/ 55.0×70.0 cm
- ◎重量/約 5 kg
- ◎額装/木製金泥仕立て・布製マット・黄袋・差し込みケース
- ◎限定数/500部
- ◎制作/株式会社大塚巧藝社
- ◎証紙/著作権者の承認（監修印）・限定番号入り証紙を額裏面に貼付
- ◎原画制作/2007年（平成19年）

熟練の絵師による手彩色で本物と見紛う出来映え



巧藝画®は、100有余年の歴史と伝統の上に、高精細の複製技術で刷り上げ、原画と同じ岩絵具を用いて、熟練の絵師の手により再現した版画です。原画と見紛うまでの出来映え(品質)は、お手元で本物と同じ臨場感が味わえる、正に美術的価値を兼ね備えた複製版画です。

※ 商品の画像は、お客様のご使用のモニターやブラウザ、照明器具などの環境によって実際の色味と異なる場合がございます。予めご了承ください。

お問い合わせ、お申し込み頂ける場合は、下記のほるぷアートアイまでご連絡下さい。
(数に限りがございますので、予めご了承ください)

TEL: 072-805-0595 FAX: 072-805-0596 もしくは E-mail: info@hohp-ai.com
までお願い申し上げます。

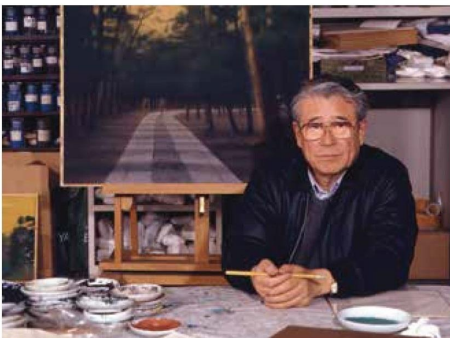
ほるぷA&I

株式会社ほるぷアートアイ
〒573-1192 大阪府枚方市西狭野1丁目1-23-202
tel: 072-805-0595 Fax: 072-805-0596

- ◆送料・代引き手数料は弊社にて負担いたします。
- ◆作品お申し込み後14日以内に発送します。
- ◆郵便振込の場合は作品到着後1週間以内にお振込み下さい。
- ◆不良品や品違いの場合は、弊社負担で交換させていただきます。
お客様のご都合による場合は、申し訳ありませんが、お客様の送料ご負担にてお願いいたします。

平山郁夫 略歴

- 一九三〇（昭和五年） 広島県の生口島、豊田郡瀬戸町（現・尾道市瀬戸町）に生まれる。
- 一九四五（昭和二〇）年 修道中学三年在学中、広島市で被爆する。
- 一九四七（昭和二十二）年 東京美術学校（現・東京芸術大学）日本画科予科に入学。
- 一九五二（昭和二十七）年 三月、東京美術学校日本画科卒業。同校学科科副手に就任。
- 一九五三（昭和二十八）年 再興第3回院展に《家路》（広島県立美術館蔵）が初入選。
- 一九五九（昭和三十四）年 第44回院展に《仏教伝来》を出品。
- 一九六四（昭和三十九）年 日本美術院同人に推挙される。
- 一九六七（昭和四十二）年 三月、約一年間、法隆寺金堂壁画再現事業に携わる。
- 一九七三（昭和四十八）年 高松塚古墳壁画の現状模写に従事。
- 一九八九（平成元）年 東京藝術大学学長に就任。
- 一九九三（平成五）年 文化功労者として顕彰される。
- 一九九六（平成八）年 日本美術院理事長に就任。
- 一九九七（平成九）年 故郷の広島県豊田郡瀬戸町（現・尾道市）に平山郁夫美術館が開館。
- 一九九八（平成十）年 文化勲章を受章。
- 二〇〇四（平成十六）年 山梨県長坂町（現・北杜市）に平山郁夫シルクロード美術館が開館。
- 二〇〇七（平成十九）年 《吉野山 桜花》を制作。
- 二〇〇九（平成二十一）年 十二月一日逝去。



大塚 巧藝